



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日

上場会社名 株式会社 ミツ星
 コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 競 良一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 金城 安弘
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6261-8882

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,308	△4.2	120	△28.2	118	△28.5	85	△15.8
2019年3月期第2四半期	4,495	△0.3	167	△27.3	165	△27.0	101	△69.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 93百万円 (21.9%) 2019年3月期第2四半期 76百万円 (△79.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	74.80	—
2019年3月期第2四半期	88.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,066	5,680	56.4
2019年3月期	10,311	5,656	54.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 5,680百万円 2019年3月期 5,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	△1.8	260	△8.1	270	△9.4	200	△67.4	175.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	1,266,655 株	2019年3月期	1,266,655 株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2020年3月期2Q	124,779 株	2019年3月期	124,779 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	1,141,876 株	2019年3月期2Q	1,141,917 株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産において弱い状況が続いており、製造業を中心に慎重さが増えています。

一方、世界経済は、米中通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響に注意するとともに、中国の景気減速、海外経済の動向と政策に関する不確実性や金融資本市場の変動の影響により先行きが不透明な状況となっております。

当社グループ（当社及び子会社）に関連する経営環境につきましては、設備投資は、機械投資に弱さがみられます。また、住宅建設においても弱含んで推移しております。

このような状況のなか、当社グループの売上高は、主原材料である銅価格が前年同期より下落したことなどで、前年同期より減少しました。

営業利益につきましては、国内子会社の工場移転に係る費用の発生や海外子会社の新工場に係る費用増加の影響により前年同期より減少しました。

経常利益につきましては、前期発生していた為替差損が今期は為替差益へと転じましたが、営業利益減少の影響により前年同期より減少しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益の計上や法人税等合計額が減少しましたが、上記理由により前年同期より減少しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,308百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益は120百万円（前年同期比28.2%減）、経常利益118百万円（前年同期比28.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は85百万円（前年同期比15.8%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[電線]

当事業の主要な市場である建設・電販向けは、東京オリンピック・パラリンピック、首都圏再開発などの需要が顕著ではあるものの、仮設工事から本設工事へ移行している事もあり、ゴム電線需要は減少しています。

また、米中通商問題、日韓問題等の影響で、半導体、ロボット、FA関連の動きが非常に鈍くなっていることもあり、出荷量が前年同期よりも減少した結果、売上高は2,778百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

利益面につきましては、適正価格での販売を実施した結果、売上総利益率は前年同期より改善しましたが、6月中旬以降、銅価格の大幅な下落や競合他社の安価な攻勢もあり、一部販売価格が下がったことと海外子会社の新工場に係る費用が増加したことにより、セグメント利益は64百万円（前年同期比46.9%減）となりました。

[ポリマテック]

当事業に関連のある住宅建設はこのところ弱含んでおりますが、新設住宅（マンション除く）着工件数が前年比5.0%増加した影響と、既存顧客での拡販案件の獲得が寄与した結果、全体の売上高は1,140百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

利益面につきましては、生産性の改善や材料ロスの低減、低採算先と不採算先の販売価格の改訂に取り組み、セグメント利益は33百万円（前年同期比47.6%増）となりました。

[電熱線]

当事業では、前年に引き続きスマートフォンの需要鈍化によるスマートフォン製造装置向けヒーター用途が減少していることや、中国の景気減速の影響により産業ロボット向け抵抗器用途も減少傾向が継続していることに加え、米中通商問題の影響により産業機器向け販売が不調となったことや、韓国経済の不調により韓国向け輸出が減少しました。住宅設備機器関連での受注が増加したことや白物家電機器向けヒーター用途及び中国市場での食品炉向けヒーター用途等での新規開拓により減少分をカバーした結果、売上高は389百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

利益面につきましては、比較的付加価値の高い製品の産業機器向け販売不調により減少したことや工場移転での費用増加などにより、セグメント利益は22百万円（前年同期比6.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は6,324百万円となり、前連結会計年度末と比べ513百万円減少しました。これは主に受取手形及び売掛金が321百万円、現金及び預金が139百万円、電子記録債権が77百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は3,742百万円となり、前連結会計年度末に比べ268百万円増加しました。これは主に有形固定資産が307百万円増加しましたが、投資有価証券が21百万円、その他に含まれる繰延税金資産が16百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は10,066百万円となり、前連結会計年度末に比べ245百万円減少となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,873百万円となり、前連結会計年度末に比べ581百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金が245百万円、短期借入金が216百万円、未払法人税等が92百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,512百万円となり、前連結会計年度末に比べ311百万円増加しました。これは主に長期借入金が314百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,385百万円となり前連結会計年度末に比べ269百万円減少しました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は5,680百万円となり、前連結会計年度末に比べ24百万円増加しました。これは利益剰余金が16百万円、その他有価証券評価差額金が9百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は56.4%（前連結会計年度末は54.9%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より139百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には1,533百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、76百万円の獲得（前年同期は292百万円の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益132百万円（前年同期は税金等調整前四半期純利益165百万円）や減価償却費81百万円（前年同期は66百万円）、売上債権の減少399百万円（前年同期は216百万円の減少）に対し、仕入債務の減少301百万円（前年同期は157百万円の減少）、法人税等の支払額139百万円（前年同期は28百万円）、たな卸資産の増加71百万円（前年同期は42百万円の増加）、賞与引当金の増加19百万円（前年同期は17百万円の減少）等によるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は248百万円の使用（前年同期は332百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出299百万円（前年同期は328百万円の支出）等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は30百万円の獲得（前年同期は101百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入れによる収入550百万円（前年同期は500百万円の収入）に対し、長期借入金の返済による支出201百万円（前年同期は248百万円の支出）や短期借入金の減少216百万円（前年同期は80百万円の減少）や、配当金の支払額68百万円（前年同期は56百万円の支払）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日公表の決算短信に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,673,373	1,533,521
受取手形及び売掛金	2,981,829	2,660,063
電子記録債権	458,908	380,932
商品及び製品	998,752	960,270
仕掛品	277,754	333,276
原材料及び貯蔵品	347,668	401,462
その他	99,110	54,500
流動資産合計	6,837,397	6,324,027
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,582,709	1,582,486
その他(純額)	1,060,934	1,368,832
有形固定資産合計	2,643,643	2,951,319
無形固定資産		
158,644	158,644	158,731
投資その他の資産		
投資有価証券	563,152	541,323
その他	110,118	92,496
貸倒引当金	△1,775	△1,775
投資その他の資産合計	671,495	632,044
固定資産合計	3,473,783	3,742,095
資産合計	10,311,180	10,066,122
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	732,997	487,386
電子記録債務	1,272,215	1,189,822
短期借入金	622,263	406,000
1年内返済予定の長期借入金	267,219	300,799
リース債務	64,850	66,498
未払金	276,900	268,760
未払法人税等	131,049	38,093
賞与引当金	36,476	56,030
その他	50,072	59,628
流動負債合計	3,454,045	2,873,018
固定負債		
長期借入金	898,646	1,213,594
退職給付に係る負債	45,714	61,239
リース債務	250,015	227,146
資産除去債務	—	3,000
その他	6,455	7,271
固定負債合計	1,200,832	1,512,252
負債合計	4,654,878	4,385,271

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,657	1,133,657
利益剰余金	3,275,508	3,292,409
自己株式	△150,590	△150,590
株主資本合計	5,395,093	5,411,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,542	195,414
為替換算調整勘定	15,614	15,376
退職給付に係る調整累計額	60,051	58,065
その他の包括利益累計額合計	261,208	268,856
純資産合計	5,656,302	5,680,851
負債純資産合計	10,311,180	10,066,122

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	4,495,378	4,308,359
売上原価	3,570,171	3,403,835
売上総利益	925,207	904,523
販売費及び一般管理費	757,244	783,911
営業利益	167,962	120,612
営業外収益		
受取利息	184	27
受取配当金	8,094	8,544
受取家賃	4,464	4,302
仕入割引	2,493	2,601
その他	8,658	4,292
営業外収益合計	23,894	19,768
営業外費用		
支払利息	4,761	6,229
売上割引	9,726	9,085
為替差損	6,305	-
支払負担金	3,457	4,463
その他	1,825	2,077
営業外費用合計	26,077	21,857
経常利益	165,779	118,523
特別利益		
固定資産売却益	-	201
投資有価証券売却益	-	14,619
特別利益合計	-	14,820
特別損失		
固定資産除却損	0	1
事務所移転費用	497	1,116
特別損失合計	497	1,117
税金等調整前四半期純利益	165,281	132,226
法人税、住民税及び事業税	31,787	33,654
法人税等調整額	32,061	13,158
法人税等合計	63,849	46,813
四半期純利益	101,432	85,413
親会社株主に帰属する四半期純利益	101,432	85,413

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	101,432	85,413
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,821	9,872
為替換算調整勘定	△6,244	△237
退職給付に係る調整額	△1,042	△1,986
その他の包括利益合計	△25,108	7,648
四半期包括利益	76,323	93,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	76,323	93,061

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	165,281	132,226
減価償却費	66,659	81,925
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,128	19,553
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△5,987	12,756
受取利息及び受取配当金	△8,278	△8,572
支払利息	4,761	6,229
固定資産売却損益 (△は益)	—	△201
固定資産除却損	0	1
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△14,619
売上債権の増減額 (△は増加)	216,230	399,699
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△42,312	△71,085
仕入債務の増減額 (△は減少)	△157,011	△301,131
未払費用の増減額 (△は減少)	△9,960	△4,934
その他	94,785	△38,543
小計	307,040	213,304
利息及び配当金の受取額	8,278	8,572
利息の支払額	△4,824	△6,338
法人税等の還付額	10,846	703
法人税等の支払額	△28,429	△139,347
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,911	76,894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△328,870	△299,104
有形固定資産の売却による収入	—	201
投資有価証券の取得による支出	△3,396	△3,358
投資有価証券の売却による収入	—	54,027
その他	△497	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△332,765	△248,234
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△80,000	△216,263
長期借入れによる収入	500,000	550,000
長期借入金の返済による支出	△248,030	△201,472
配当金の支払額	△56,900	△68,189
その他	△13,951	△33,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	101,118	30,238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△24,862	1,248
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	36,402	△139,852
現金及び現金同等物の期首残高	1,090,606	1,673,373
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,127,009	1,533,521

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	3,002,319	1,129,402	363,656	4,495,378
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,399	—	127	6,527
計	3,008,719	1,129,402	363,783	4,501,905
セグメント利益	121,250	22,957	23,754	167,962

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	2,778,675	1,140,295	389,389	4,308,359
セグメント間の内部売上高又は振替高	445	—	84	530
計	2,779,120	1,140,295	389,474	4,308,890
セグメント利益	64,404	33,894	22,312	120,612

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(固定資産の譲渡)

2019年10月31日開催の取締役会において、子会社であるシルバー鋼機(株)の旧本社(建物・土地)を売却することを決定致しました。

当該売却により譲渡益約46百万円を見込んでおり、これにつきましては当第3四半期において特別利益に計上する予定です。